



ONOKEN 

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

小野建株式会社

- 1 2021年3月期2Q連結決算の総括、連結損益計算書、販売管理費
- 2 連結貸借対照表、セグメント別業績
- 3 品種別販売状況
- 4 設備投資
- 5 株主還元、今期業績予想について

将来の見通しに関する注意事項

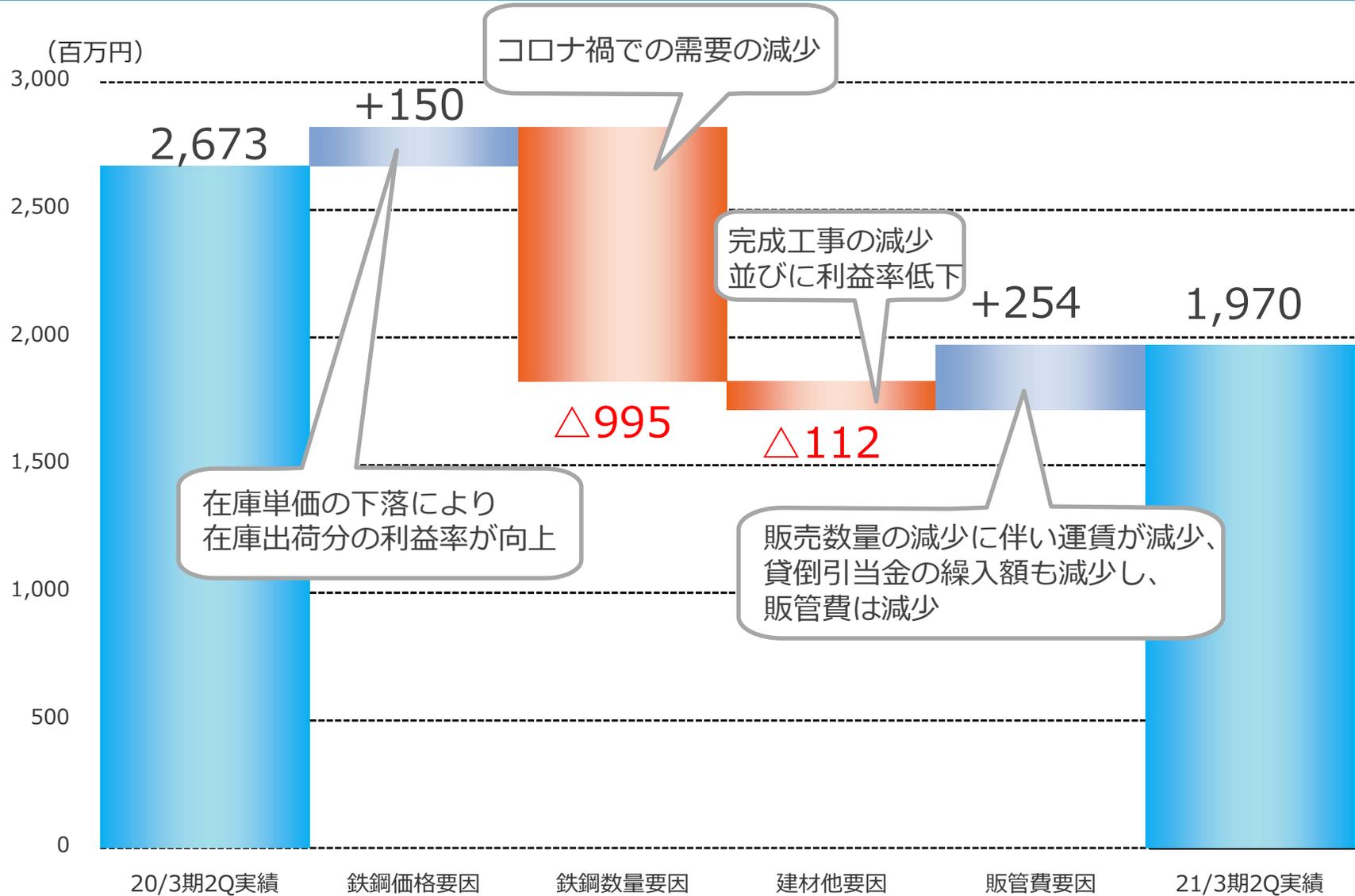
資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2021年3月期2Q総括 前々期および前期との差異（連結）

(百万円)

	19/3期 2Q実績	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q実績	前年同期比	
				増減	増減率
売上高	108,148	112,236	94,073	△ 18,163	△ 16.2 %
売上総利益	9,685	9,338	8,381	△ 957	△ 10.2 %
営業利益	2,769	2,673	1,970	△ 703	△ 26.3 %
経常利益	2,841	2,753	2,117	△ 636	△ 23.1 %
親会社株主帰属 当期純利益	1,873	1,883	1,416	△ 467	△ 24.8 %

2021年3月期2Q総括 営業利益/前年同期比変化要因 (連結) ONOKEN



損益計算書（連結）

(百万円)

	19/3期 2Q実績	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q実績	前年同期比 増減率	20/3期 通期実績	21/3期 通期計画	前年比 増減率
売上高	108,148	112,236	94,073	△16.2%	229,290	203,335	△ 11.3%
売上原価	98,462	102,897	85,691	△16.7%	209,601	185,206	△ 11.6%
売上総利益	9,685	9,338	8,381	△10.2%	19,688	18,129	△ 7.9%
販売費及び一般管理費	6,916	6,664	6,411	△ 3.8%	13,328	13,131	△ 1.5%
営業利益	2,769	2,673	1,970	△26.3%	6,360	4,998	△ 21.4%
営業外収益	116	132	187	+41.7%	341	292	△ 14.4%
営業外費用	44	52	40	△23.1%	174	80	△ 54.0%
経常利益	2,841	2,753	2,117	△23.1%	6,527	5,210	△ 20.2%
特別利益	18	12	0	—	14	0	—
特別損失	1	1	29	+2,800%	117	29	△ 75.2%
税引前当期純利益	2,858	2,765	2,087	△24.5%	6,424	5,181	△ 19.3%
法人税等事業税	984	881	671	△23.8%	2,008	1,591	△ 20.8%
親会社株主当期純利益	1,873	1,883	1,416	△24.8%	4,416	3,590	△ 18.7%

販売管理費（連結）

(百万円)

	19/3期 2Q実績	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q実績	前年同期比 増減率	20/3期 通期実績	21/3期 通期計画	前年比増 減率
販売費及び一般管理費	6,916	6,664	6,411	△ 3.8 %	13,328	13,131	△ 1.5%
運賃	2,109	2,138	1,951	△ 8.7 %	4,401	4,068	△ 7.6%
貸倒引当金繰入額	615	11	△ 60	—	16	△ 60	—
人件費	2,287	2,473	2,395	△ 3.2 %	4,671	4,681	+0.2%
租税公課	230	252	237	△ 6.0 %	485	490	+1.0%
減価償却費	619	649	797	+ 22.8 %	1,357	1,695	+24.9%
その他	1,056	1,141	1,091	△ 4.4 %	2,398	2,257	△ 5.9%
売上原価内の減価償却	257	236	219	△ 7.2 %	473	477	+0.8%

- 販売数量の減少に伴い運賃の減少
- 前期発生した貸倒引当金繰入額の戻入
- 減価償却費は加工設備増強並びに南福岡営業所新設による増加

貸借対照表（連結）

※主要項目のみ記載しております	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 2Q実績	増減額	増減率(百万円)
流動資産	108,673	100,013	90,739	△ 9,274	△ 9.3 %
現金及び預金	5,725	5,292	5,468	+ 176	+ 3.3 %
受取手形及び売掛金・電子記録債権	72,424	62,791	52,308	△ 10,483	△ 16.7 %
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	24,722	21,411	16,454	△ 4,957	△ 23.2 %
前渡金	5,769	10,382	16,274	+ 5,892	+ 56.8 %
固定資産	49,944	53,584	55,558	+ 1,974	+ 3.7 %
有形固定資産	47,908	50,911	52,888	+ 1,977	+ 3.9 %
資産合計	158,618	153,598	146,297	△ 7,301	△ 4.8 %
流動負債	88,051	75,628	68,161	△ 7,467	△ 9.9 %
支払手形及び買掛金・電子記録債務	45,411	41,766	36,364	△ 5,402	△ 12.9 %
短期借入金	35,951	22,250	15,700	△ 6,550	△ 29.4 %
前受金	2,834	6,170	11,478	+ 5,308	+ 86.0 %
固定負債	2,034	7,809	7,179	△ 630	△ 8.1 %
社債	—	6,029	6,026	△ 3	△ 0.0%
長期借入金	287	34	14	△ 20	△ 58.8 %
負債合計	90,086	83,437	75,340	△ 8,097	△ 9.7 %
株主資本	68,191	70,077	70,791	+ 714	+ 1.0 %
純資産合計	68,531	70,160	70,956	+ 796	+ 1.1 %
負債・純資産合計	158,618	153,598	146,297	△ 7,301	△ 4.8 %

セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

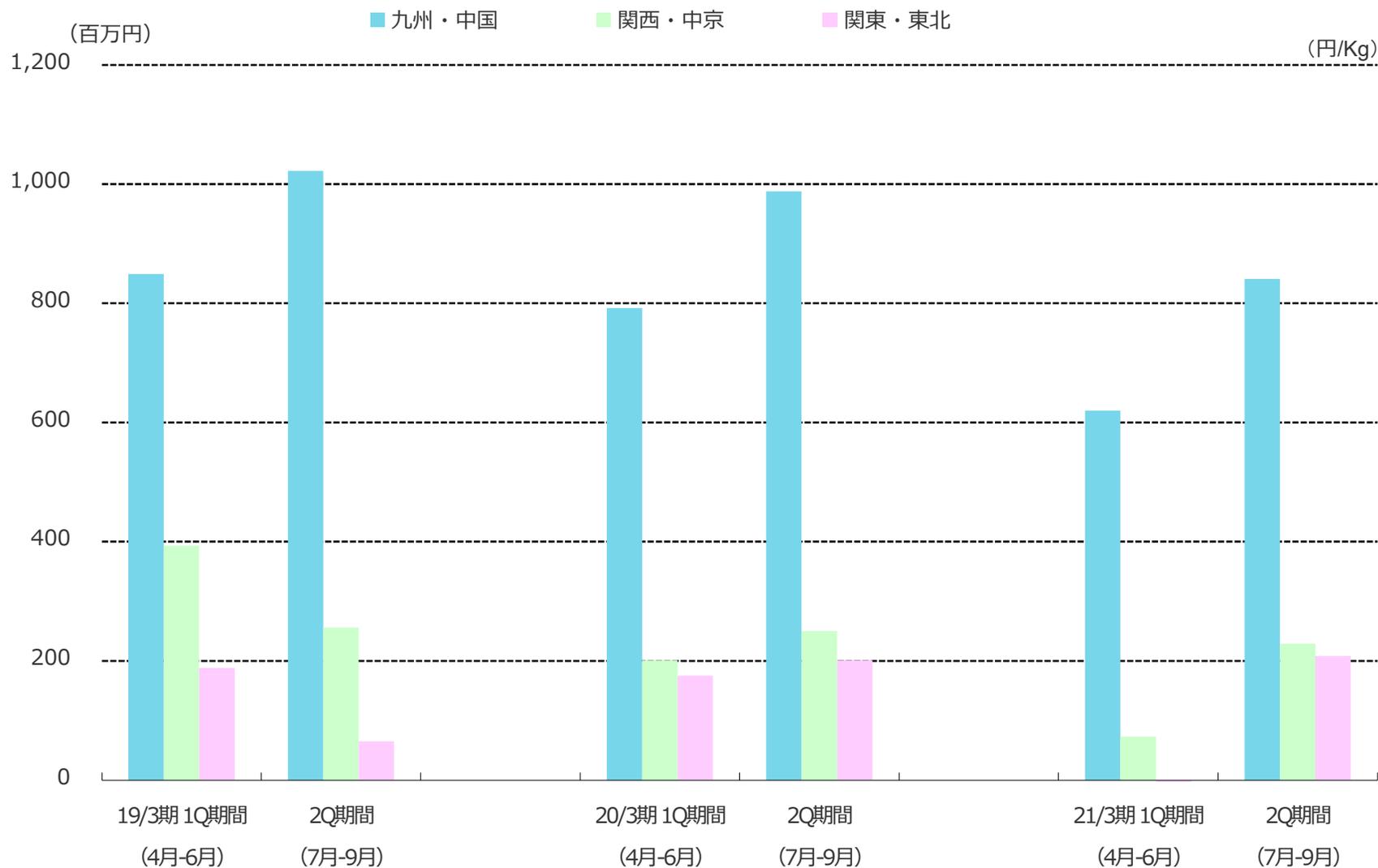
		19/3期 2Q実績	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q実績	20/3期 通期実績	※21/3期 通期計画
九州・中国 エリア	売上	58,116	64,894	55,432	137,075	126,897
	営業利益	1,871	1,780	1,461 (△26)	4,392	4,008
関西・中京 エリア	売上	27,076	26,366	20,848	51,289	46,180
	営業利益	649	451	302 (△4)	1,077	639
関東・東北 エリア	売上	22,956	20,975	17,793	40,924	36,125
	営業利益	253	376	157 (△14)	818	577

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

() 内は在庫評価損を記載

※通期計画は連結消去なしで記載の為参考値

セグメント別利益推移



21/3期 1Q→2Qに各エリアとも利益は回復

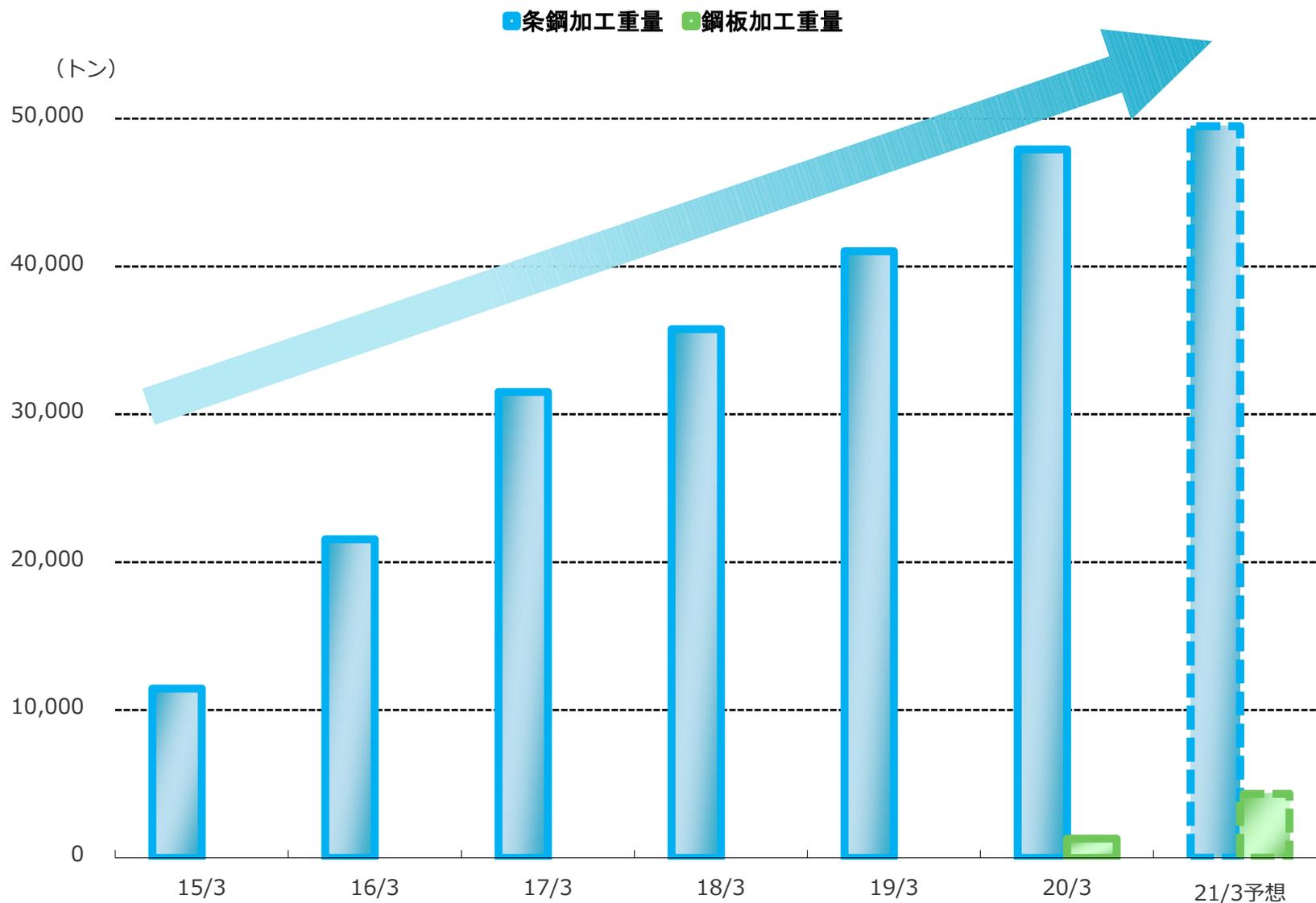
品種別販売状況（小野建単体）



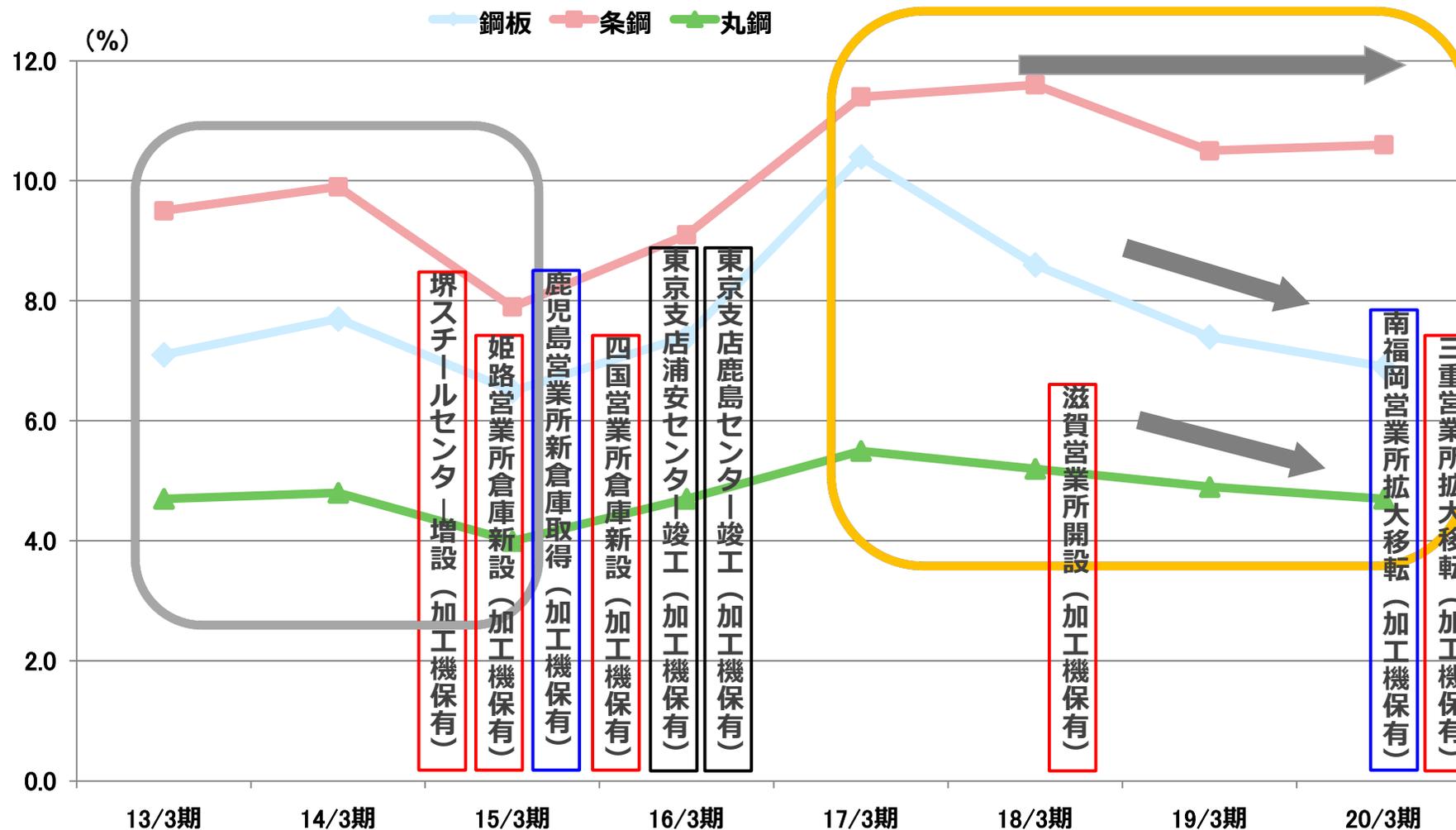
（百万円・千トン・% 単価は円/Kg）

		19/3期 2Q実績		20/3期 2Q実績		21/3期 2Q実績		前年同期比 増減率	21/3期 通期計画		前年比 増減率
鉄鋼商品販売事業	鋼板類売上	26,760		28,021		22,878		△18.4%	43,403		△19.8%
	販売数量・単価	312	85.77	329	85.17	301	76.01	△8.5%	565	76.82	△13.2%
	売上総利益	2,146		1,856		1,936		+ 4.3%	4,048		+ 7.9%
	利益率	8.0		6.6		8.5		+ 1.9 P	9.3		+ 2.4 P
	条鋼類売上	38,278		38,779		30,740		△20.7%	63,093		△15.2%
	販売数量・単価	379	101.00	366	105.95	318	96.67	△13.1%	659	95.74	△7.3%
	売上総利益	4,057		3,991		3,326		△16.7%	6,979		△11.9%
	利益率	10.6		10.3		10.8		+ 0.5 P	11.1		△ 0.5 P
	丸鋼類売上	14,392		15,282		11,375		△25.6%	23,666		△17.8%
	販売数量・単価	199	72.32	203	75.28	166	68.52	△18.2%	346	68.40	△11.1%
	売上総利益	700		682		601		△11.9%	1,252		△7.8%
	利益率	4.9		4.5		5.3		+ 0.8 P	5.3		+ 0.6 P
小計	売上高	79,430		82,082		64,993		△20.8%	130,162		△17.3%
	販売数量・単価	890	89.25	898	91.41	785	82.79	△12.6%	1,570	82.91	△10.3%
	売上総利益	6,903		6,529		5,863		△10.2%	12,279		△5.8%
	利益率	8.7		8.0		9.0		+ 1.0 P	9.4		+ 1.1 P

自社での一次加工重量の推移



品種別利益率推移



条鋼類の一次加工比率の向上により収益率が向上しかつ安定化

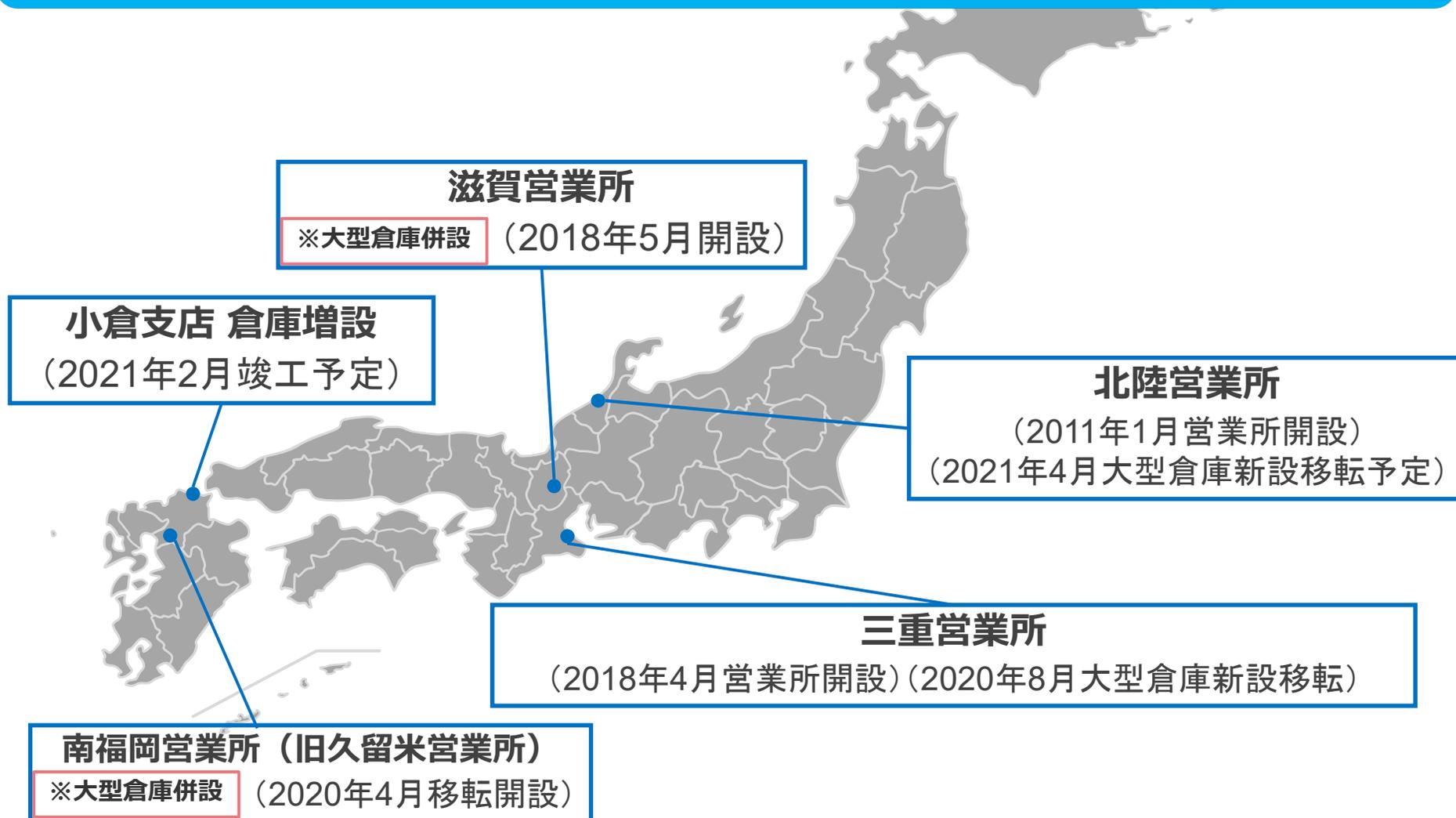
品種別販売状況（小野建単体）

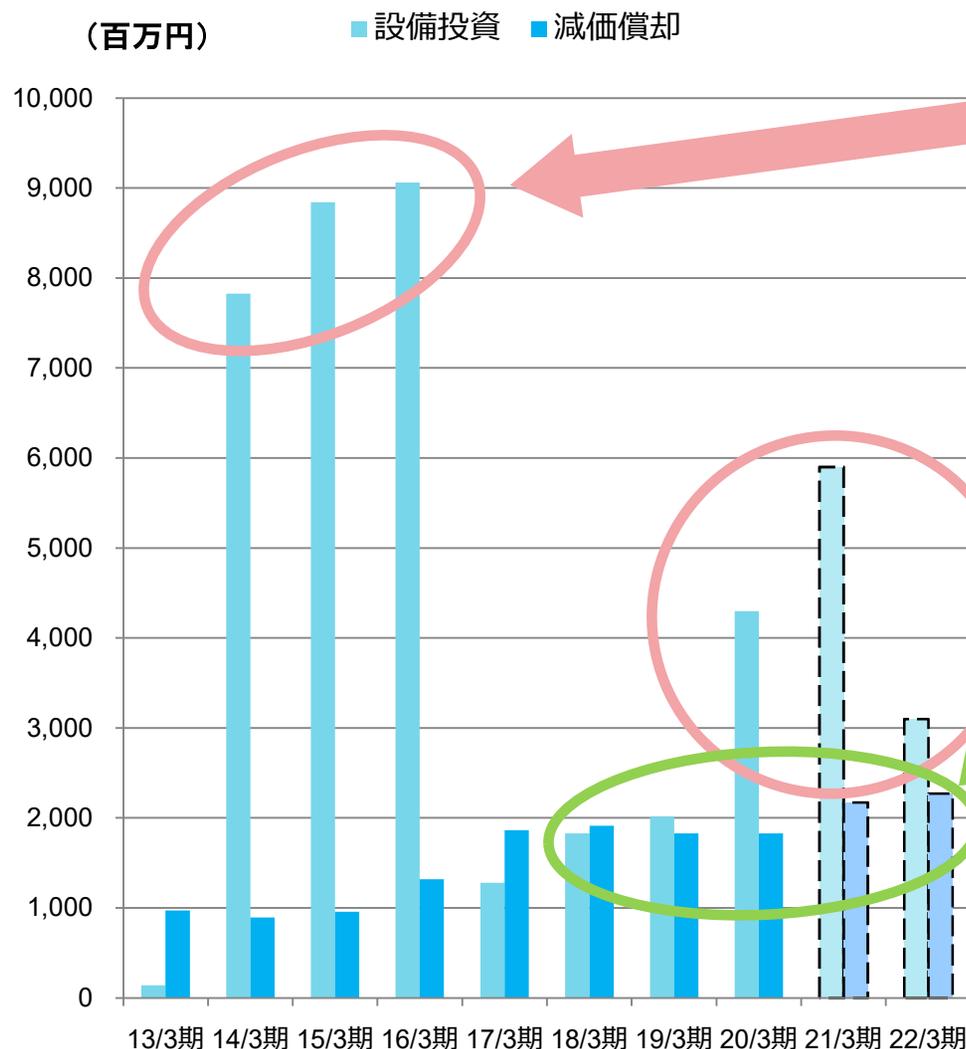


(百万円)

		19/3期 2Q実績	20/3期 2Q実績	21/3期 2Q実績	前年同期比 増減率	21/3期 通期計画	前年比 増減率
販売事業 建材商品	建設機材商品売上	5,915	6,908	6,874	△ 0.5%	15,377	△ 2.5%
	売上総利益	311	324	316	△ 2.5%	724	△ 1.9%
	利益率	5.3	4.7	4.6	△ 0.1 P	4.7	± 0 P
事業 工事請負	建設機材工事売上	15,998	15,355	15,355	△ 0.0%	43,164	+ 6.1%
	売上総利益	1,113	1,309	1,045	△ 20.2%	2,920	△ 8.7%
	利益率	7.0	8.5	6.8	△ 1.7 P	6.8	△ 1.1 P
等事業 不動産賃貸	その他事業収入	367	367	345	△ 6.0%	685	△ 6.2%
	売上総利益	222	226	222	△ 1.8%	437	△ 8.8%
合計	売上高	101,710	104,712	87,567	△ 16.4%	189,388	△ 11.7%
	売上総利益	8,549	8,388	7,446	△ 11.2%	16,360	△ 6.2%

中長期的に各地域に根差し、地域と共に発展する全国ネットワーク企業を目指す



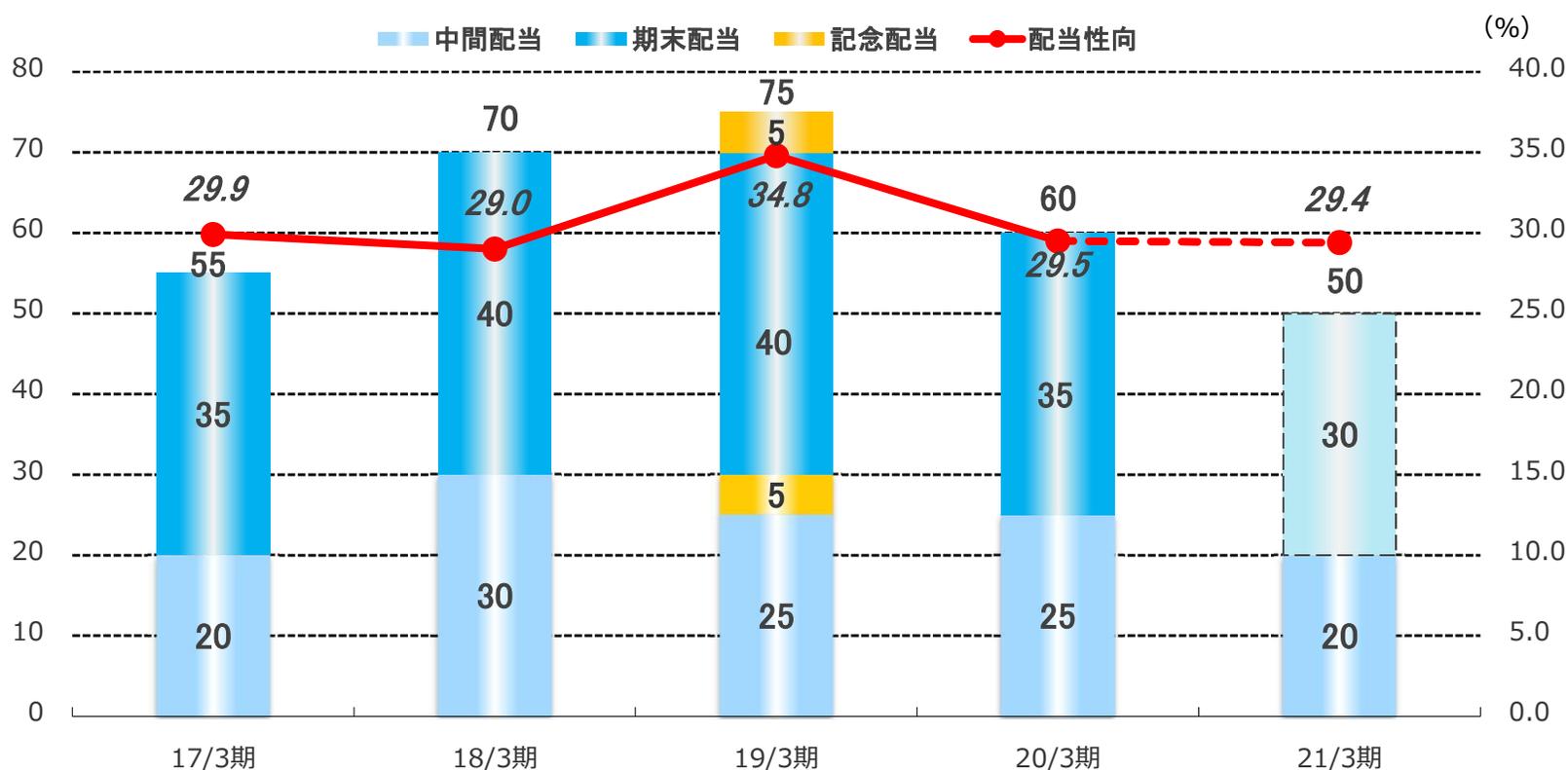


- ・ 今後10年を見据えて3年間で約260億円の設備投資を実施
- ・ 16/3期で一段落したものの近年加工設備拡充のための設備投資金額が増加傾向
- ・ 減価償却費はほぼ横ばいで推移する予定



**加工設備の充実により
安定的な収益向上**

業績連動ながら連結配当性向30%を基本に安定かつ 高い水準の利益還元を継続



◆環境

- ・ コロナ禍での経済活動は徐々に回復しており、需要も増加傾向となっている
ただし、今後もコロナの影響は予断を許さない
- ・ 中国の景気回復により、鉄鋼市況は強含み状況となっており、特に輸入価格は上昇しており国内市況を上回り、輸入は低調に推移している

◆業績予想前提

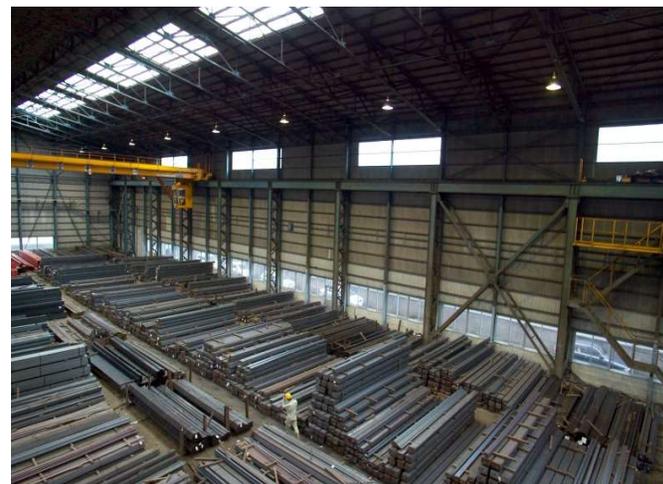
- ・ 需要の回復による鉄鋼商品販売数量の増加
- ・ 鉄鋼市況が第2Qから強含みで推移しており、在庫出荷分を中心に利益率の向上
- ・ 工事請負事業における完成工事の増加
(来期以降も物流センターなどの施設関連や再開発物件が継続
ただし、中小型案件の着工見送り懸念は残る)



商号	小野建株式会社
設立	1949年8月
代表者	小野 建
資本金	42億9,980万円
連結売上高	2,292億9,000万円
従業員	793 人(連結)
上場取引所	東京①・福岡(7414)
本社	福岡県北九州市
業種	鉄鋼・建材流通商社
主な事業内容	鋼材の販売・加工 土木建築材料の販売 土木建築工事の請負



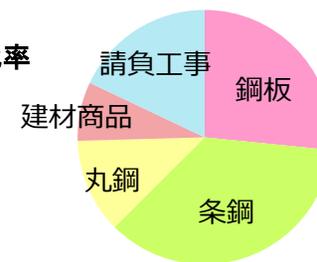
小野建株式会社本社 小倉支店



小倉支店 倉庫内
(2020年9月30日現在)

取扱品種

売上比率



鉄鋼商品

鋼板

鉄を板状にしたもの
工事現場の敷板等に用いられる



条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に成形したもの
建物の骨組等に用いられる



丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの
建物の基礎等に用いられる



建材商品

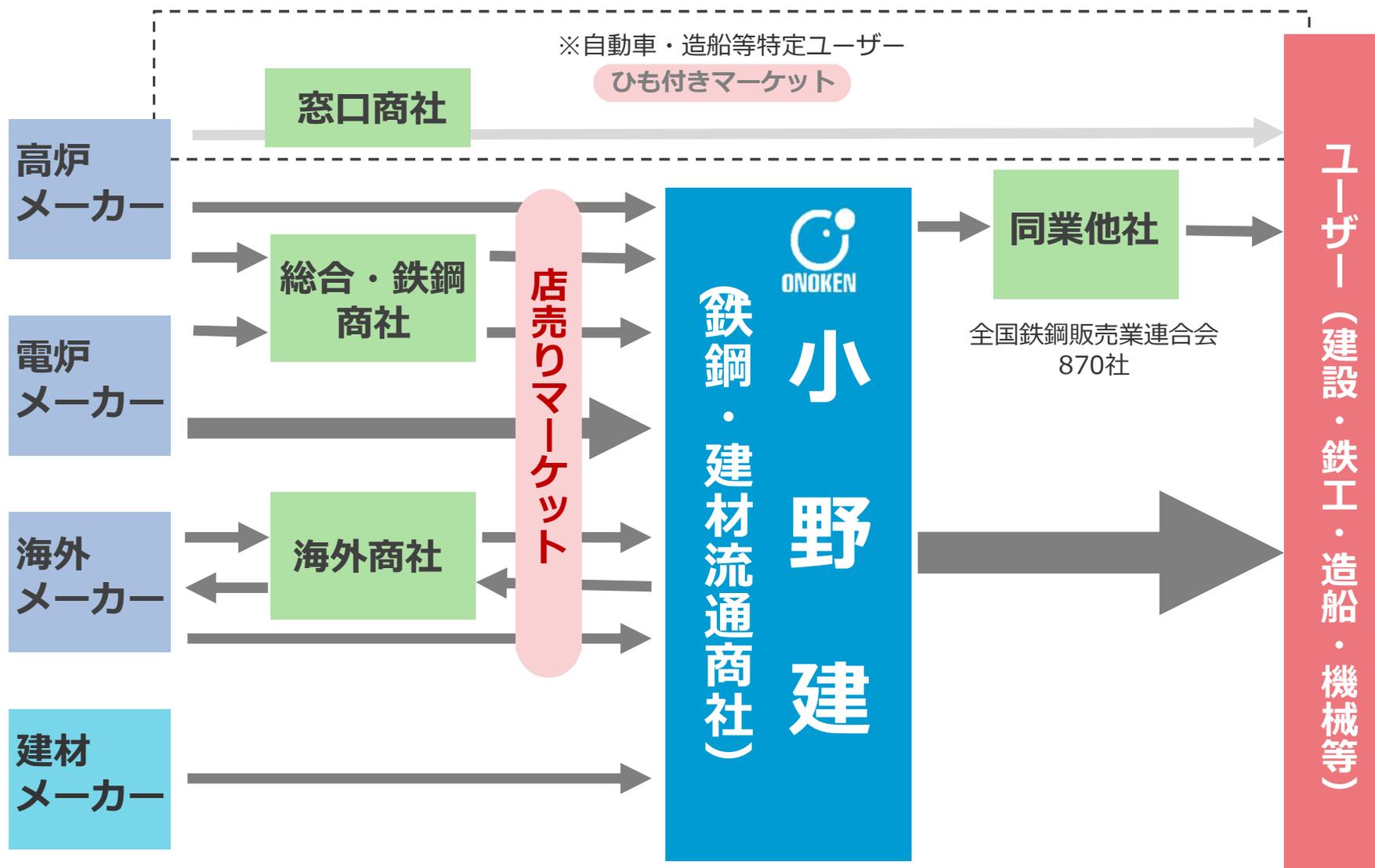
土木・建築工事に
使用される材料
鋼矢板・屋根・
フェンス・サッシ
等
写真はフェンス、
鋼矢板



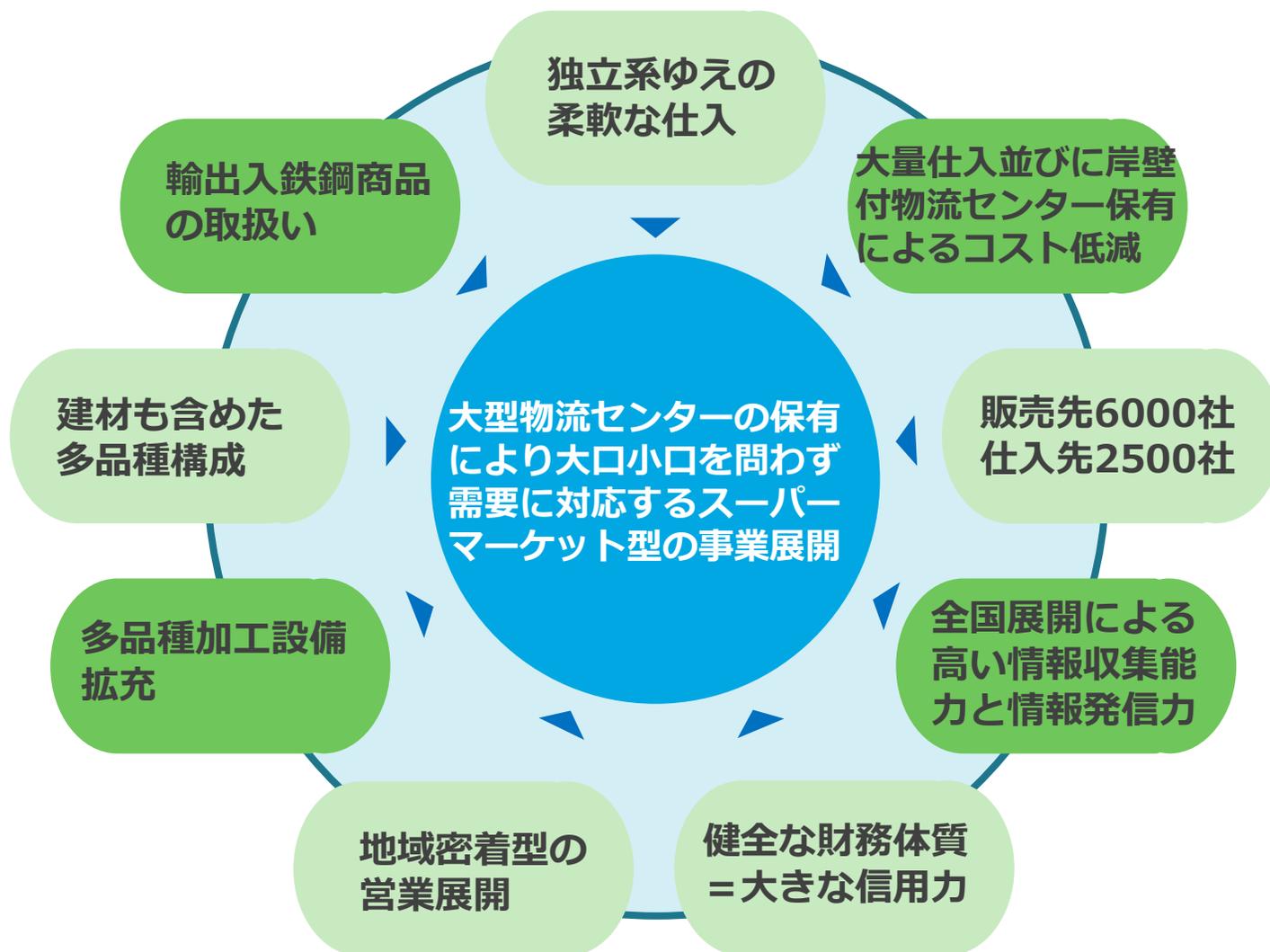
工事請負

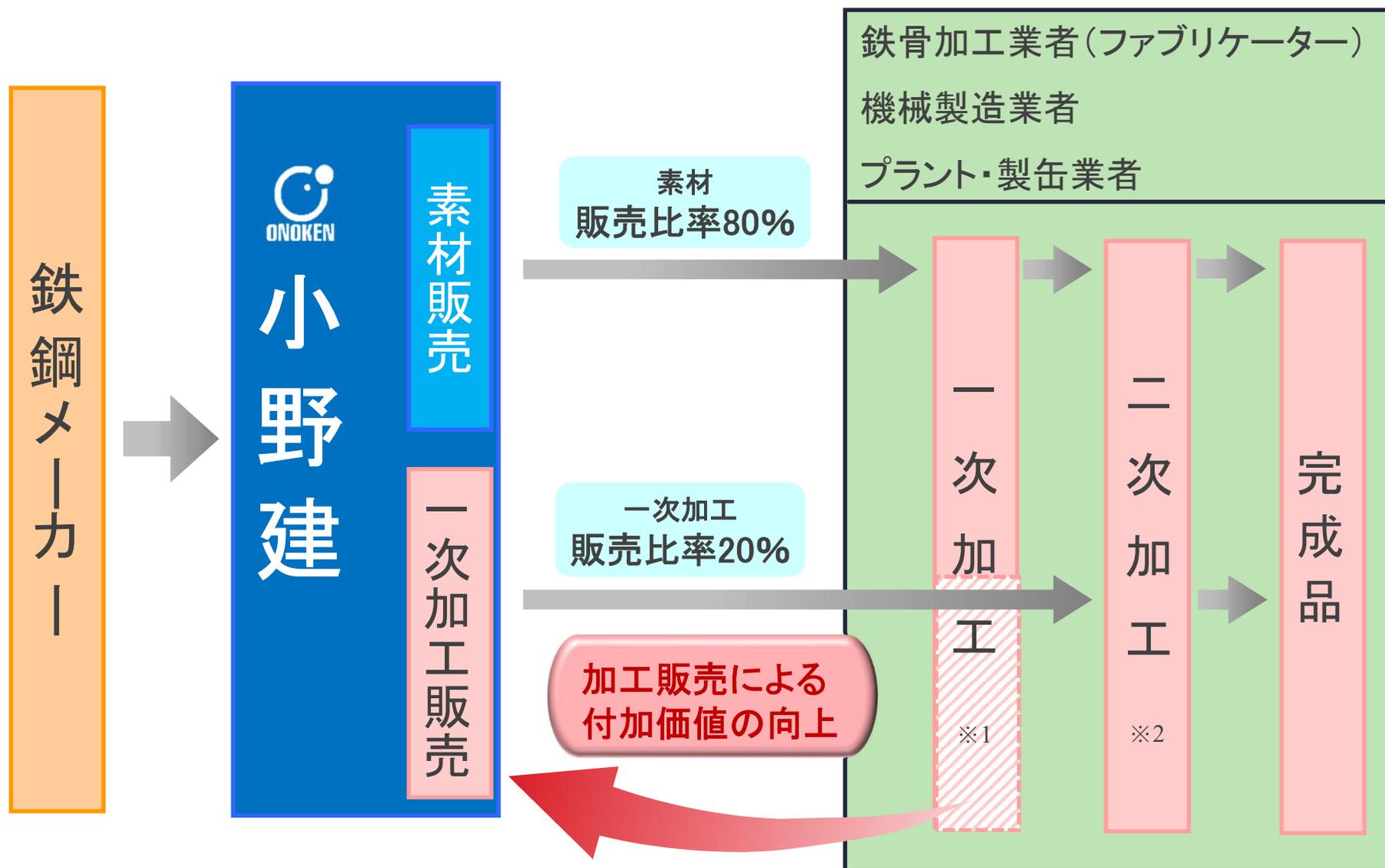
鉄骨工事
屋根工事
外壁工事
サッシ工事
杭工事など





物流センターを活用した「鉄と建材のスーパーマーケット」





※1一次加工・・・素材を販売ニーズに合わせ、切断・穴あけ等の加工

※2二次加工・・・一次加工品に組立・溶接・塗装等の加工

付加価値向上により鉄鋼市況の影響を受けにくい商品の取扱拡大

加工前の
H形鋼

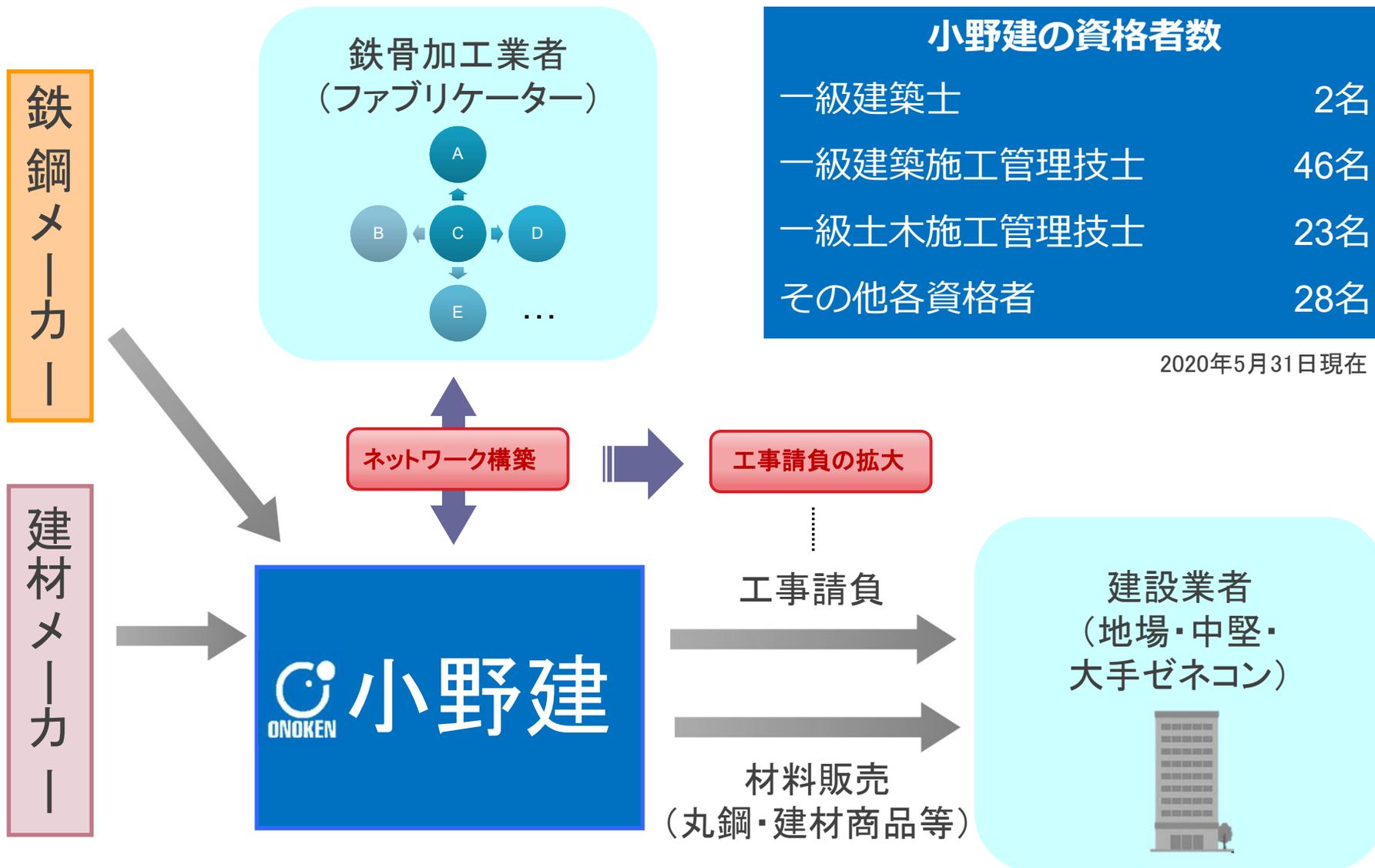


加工機にて
切断・穴あけ



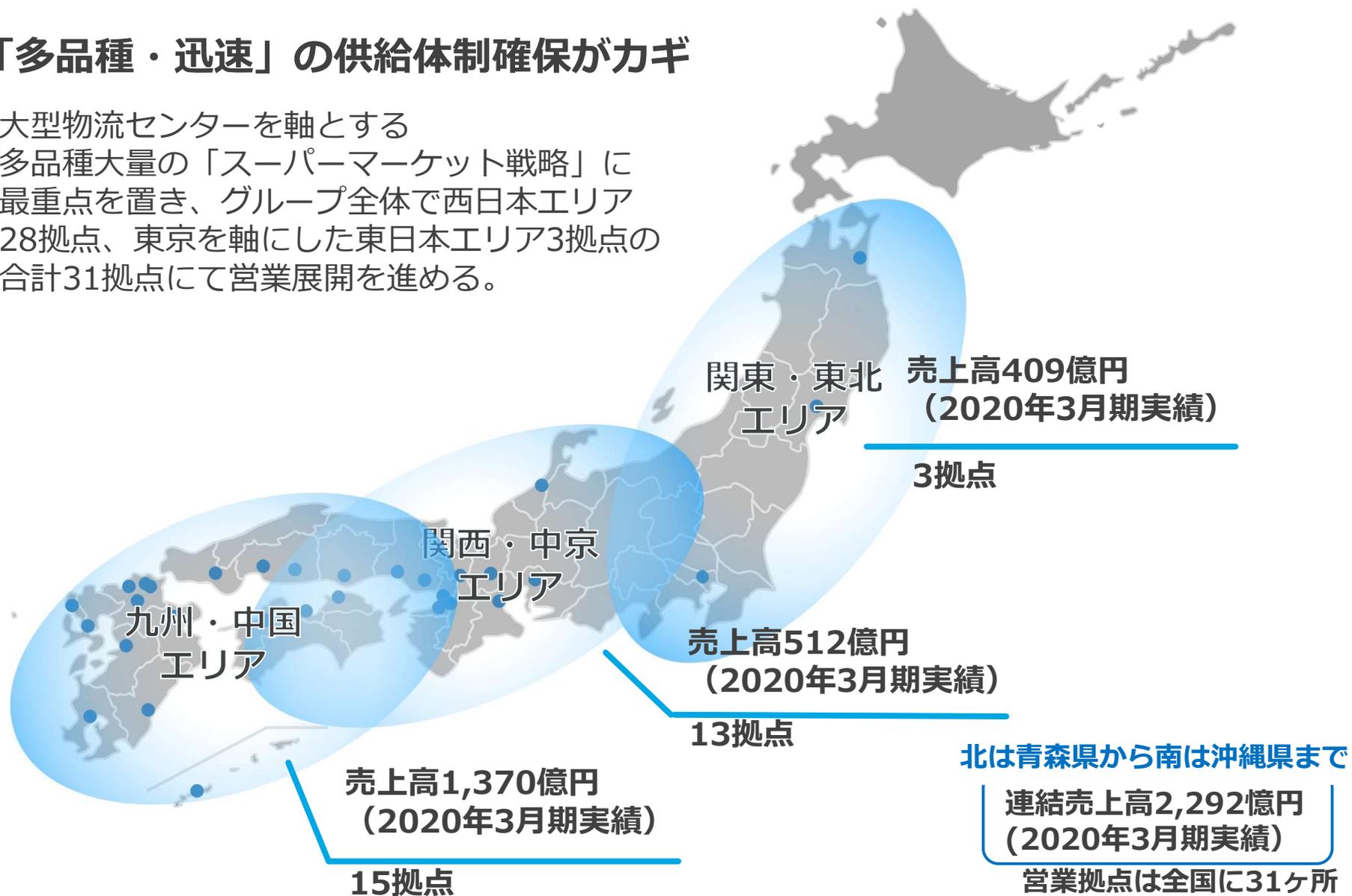
加工後の
(切断・穴あけ後)
完成品

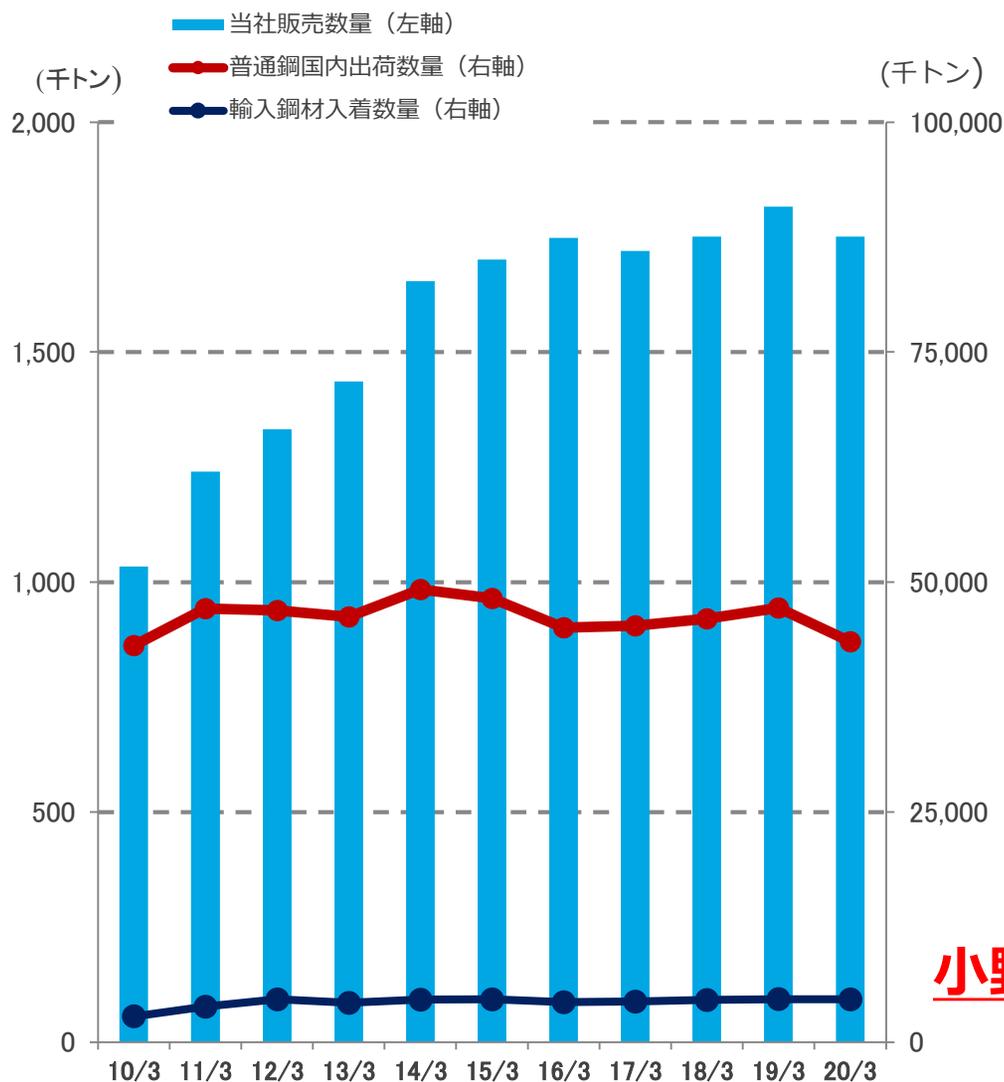




「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ

大型物流センターを軸とする
多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に
最重点を置き、グループ全体で西日本エリア
28拠点、東京を軸にした東日本エリア3拠点の
合計31拠点にて営業展開を進める。





※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

市場との比較

- 普通鋼国内出荷数量は、近年横ばいの傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国と同業者約700社の中でトップシェアながら現在3%程度
今後エリアを拡大し、販売数量を伸ばす

今後人口減少等により市場は縮小していくことが予想されるが、

小野建の強みを活かして勝ち残りへ

● 付加価値の向上の為、加工設備の拡充と物流センター新設の促進

- 加工商品販売に注力し、今後販売比率を高め、他社との差別化と収益率アップを目指す

● 工事請負の拡大

- 鉄骨加工業者とのネットワーク構築の推進
- 施工管理者の育成強化
- 技術集団(職人等) の育成強化



同業他社との差別化と収益向上を目指す